

ホステリングマガジン vol.36 / 2024 Spring

JAPAN
Youth Hostels, Inc.

H^{OSTELLING} Magazine



COVER INTERVIEW
清宮レイ (乃木坂46)
思い立ったら、すぐ旅へ



この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。





いつでも、どこでも、
おいしいのは
あきらめない。

おいしいね、便利だね
Smartランチ
ランチパック

ニッポン放送開局70周年記念公演

鴨川ホルモー・ワンスモア

原作：万城目学（『鴨川ホルモー』『ホルモー六景』/角川文庫刊）

脚本・演出：上田誠（ヨーロッパ企画）

出演：中川大輔 八木莉可子 鳥越裕貴 清宮レイ（乃木坂46） 佐藤寛太
石田剛太（ヨーロッパ企画） 酒井善史（ヨーロッパ企画） 角田貴志（ヨーロッパ企画） 土佐和成（ヨーロッパ企画） 中川晴樹（ヨーロッパ企画） 藤松祥子 片桐美穂 日下七海 ヒロシエリ
浦井のりひろ（男性プランコ） 平井まさあき（男性プランコ） 槇尾ユウスケ（かもめんたる） 岩崎う大（かもめんたる）

東京 2024.4.12 [金] - 4.29 [月・祝] サンシャイン劇場
大阪 2024.5.3 [金・祝] - 5.4 [土・祝] サンケイホールブリーゼ

ホルモーって何なんすか。
青春群像狂騒絵巻、叶うならワンスモア。



日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

子どもはおとなに。
おとなは子どもに、
なれる場所。



02	Cover Interview 清宮レイ (乃木坂46) 思い立ったら、すぐ旅へ
08	Youth Hostel Pick up 迎える人と訪れる人が ともにつくるあたたかな空間 エナジック沖縄国際ユースホステル
12	Hostelling Magazine × 地球の歩き方 知られざる北島の絶景を回る旅 ニュージーランド
16	PLAtZ
17	おしえて! 旅GIRL
18	松島むうの晴れときどき旅びより
20	YH-GUIDE ユースホステルガイド 中国・四国 / 九州・沖縄地方

※本誌の情報は2024年2月10日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL (03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

思い立ったら、すぐ旅へ

Hostelling Magazine Cover Interview

Rei Seimiya



PROFILE |

乃木坂46

清宮レイ (せいみや れい)

2018年、乃木坂46の4期生オーディションに合格し活動開始。幼少期に5年間アメリカで過ごし、中学時代には英語検定準1級を取得するなど、得意な英語を生かして乃木坂46公式YouTubeチャンネル「乃木坂配信中」にて「REI ENGLISH!!」企画が配信されている。主な出演作として舞台「3年B組皆川先生〜2.5時幻目〜」、生配信演劇「夢路空港」、ドラマ「狼に会う」、映画「死神遣いの事件帖-月花奇譚-」など。レギュラーラジオ「ベルク presents 乃木坂46の乃木坂に相談だ!」(TOKYO FM)毎週金曜20:30から、乃木坂46の冠番組「乃木坂工事中」(TVA/TX)は毎週日曜24時から放送中。4月17日からはヨーロッパ企画・上田誠演出の舞台「鴨川ホルモー、ワンスモア」に楠ふみ役で出演が控えている。

ヘア&メイク:山田真歩 / スタイリスト:伊藤舞子 / フォト:小林潤次(七彩工房)
ワンピース¥20,900(LILY BROWN ルミネエスト新宿店<リリーブラウン>)

2日のお休みがあれば、 「旅に行きたい!」って思っちゃう!

—Hostelling Magazineではこれまでも乃木坂46のメンバーの方々とお話を伺う機会が何度かあったんですが、皆さん忙しいスケジュールの合間にたくさん旅に行っていますよね。清宮さんも旅は好きですか？

はい！お休みがあったらすぐ旅に行きます(笑)。この前は4日間の夏休みを利用して、同じ4期生の柴田柚菜ちゃんと一緒にオーストラリアのケアンズへ行ってきました！そのとき、日本は猛暑だったんですけど、南半球のオーストラリアは季節が反対。過ごしやすい気温で、空気も澄んでいて、街を散歩するだけでも楽しかったです！海が近いので、シュノーケリングとかアクティビティを楽しみました。

—オーストラリアでシュノーケリング！いいなあ、楽しそうですね！でも、4日間でオーストラリアを往復となると、忙しかったんじゃないですか？

ケアンズはオーストラリアの北部にあるので比較的日本に近いんです。直行便だと片道7時間くらいなので「これなら行ける!」と思ってケアンズにしたんですけど、日本を出発するときに乗る予定だった飛行機の機材トラブルで1日1本しかないその便が欠航になってしまったんです…。深夜発の便だったので、変更の手続きをしていたら、もうすっかり明け方になっていて。でも「せっかくなら!」って2人で空港の展望台から日の出を見て(笑)、丸1日空港で過ごしてからオーストラリアに向かいました。3泊4日から2泊3日のオーストラリア旅行になりましたけど、十分楽しかったですよ!!

私は2日お休みがあれば「あ、どこか旅に行きたい!」って思っちゃうんです。同期のあやめ(筒井あやめ)と冬の金沢に行ったときも、前日にお休みが確定したので「明日オフだ!行くよ〜!」って、急いで新幹線と宿を予約して(笑)。そのときは、あやめが「雪が見たい!」と言うので行き先を金沢にしたんですけど、金沢に着いたらすごい大雪で(笑)。2人で傘を差して「寒いねー」なんて言いながら街を散歩したり、金沢城公園の近くの喫茶店でコーヒーを飲んだり。地元の人常連さんしか行かないような老舗のおでん屋さんに2人で入って、他のお客さんと相席で金沢おでんを食べたり。行き当たりばつりの旅でしたけど、あの旅も楽しかったなあ。

—すごい行動力(笑)。以前 vol.28で樋口日奈さんにお話を伺った際も「仕事終わりにそのまま1人で韓国に行って楽しかった!」とおっしゃっていました(笑)。

お休みが直前にならないと決まらないこともあるので、どうしてもそうっちゃうんですよ。でも、飛行機とか宿って直前に予約すると、少し安くなっていることもあるので、実はメリットもあるんですよ!

—確かに、直前割引はうまく使うとお得に旅ができそう!普段旅をするときは、そういった“行き当たりばつり感”を楽しむことができますか？

そうですね、海外旅行に行くときは事前に計画を立てますね。Googleマップで行きたい場所を保存しておいて、効率良く回れるルートを考えながら動いたりもしますし、そういう計画をしっかり立てる旅も好きです。国内の旅行だと融通が効くので(笑)、行き当たりばつりで楽しむことも多いですね!

心配性とは真逆の両親が、 “きっかけ”かもしれない。

—清宮さんが旅好きになるきっかけは何だったと思いますか？

私は5歳から10歳までアメリカのカリフォルニア州に住んでいたんです。そのとき通っていた現地の小学校では春夏秋冬それぞれに1カ月くらいのお休みがあって、我が家ではそのお休みを使って家族旅行に行くのが恒例行事でした。メキシコとかカナダとか、普段生活しているアメリカから離れたところにたくさん連れて行ってもらったので、幼い頃から旅に対する心理的なハードルは低かったんだと思います。平日は現地校、土曜日は日本人学校に通って、いろんな文化を持った友達に囲まれていたことも、今思うと大きかったかもしれませんね。のびのびと育てられたおかげか、子どもの頃から自由人で、同じ環境で育った姉も、今自由にいろんな国を旅しています(笑)。両親はどちらも心配性とは真逆の性格で、日本に帰国した後、姉が中学生、私が小学校5年生ぐらいのときには父のほうから「2人でアメリカ行ってきたら?」と提案されたくらいです!

—中学生と小学生の2人だけで海外!!親としては勇気のいる提案かもしれない…。

そうです、子どもだけで(笑)。まあ、アメリカには仲の良い友達家族が住んでいましたし、空港への送り迎えとか滞在中の身の回りのことを全部お任せできるから、というのも父の考えにはあったんでしょうね。携帯電話も持たずに姉と2人で飛行機に乗ってアメリカに行きましたよ!

—海外旅行って、言葉が通じないことで躊躇してしまう人も少なくないと思うんです。清宮さんは「英語が話せる」ということも影響していると思いますか？

確かに、幼少期から母国語のように英語に触れたことは大きかったかもしれませんが、英語が公用語じゃない国に行っても、英語はある程度通じるので、コミュニケーションの面で不安に思うことは少ないです。

ただ、海外に行くこととか、現地の人とコミュニケーションをとることを「大変なこと」って考えすぎないほうがいいと思うんです。現地の人、こちらが英語が得意じゃないと分かったら、ちゃんと分かりやすいように接してくれると思いますし、旅先で必要な英語って、意外と簡単な日常会話しか使わないので、言葉が流暢でなくても全然どうにかりますよ!時々、乃木坂46のメンバーと話しているときに「レイがいれば英語が話せるから一緒に海外に行っても安心だよね」って言われるんですけど「大丈夫!みんなが中学で学んだ英語で全部事足りるよ!」って伝えているんです。

—確かに完璧な文法と発音でコミュニケーションをとる必要はない

Rei Seimiya

—でもんね!とはいえ、日本で生活していると、英語を使う機会がなかなかないので中学英語もおぼつかなくなってしまっ…。清宮さんが英語力を維持するために意識していることや、おすすめの勉強法があったら、ぜひ教えてください!

分かります!言語って本当にすぐ抜け落ちていっちゃうんですよ…。私もできるだけ英語力が落ちないように、最近だとTOEICやTOEFLのテストを目標にして、自分で自分用の課題を作って勉強しています。でも、英語って机に向かって勉強しなきゃいけないかという、決してそんなことはないと思っていて。英語の映画やドラマの字幕を英語に変えて観るのがおすすめです。それだけでも結構勉強になりますよ!

ロングフライトも全然平気! 清宮流 飛行機の楽しみ方。

—今はお忙しいと思うのですが、もし、まとまったお休みが取れたら、どこに行ってみたいですか？

友達に「フィンランドがよかった!」と聞いてから、ずっと北欧が気になっているんです。スイスにも行ってみたいし、時間がたっぷりあるときにヨーロッパを旅してみたいなあ…。あと、エジプトにもすごく興味があって!古代文明に触れてみたいし、食事も日本人の口に合うものが多いらしいので、本場のエジプト料理も食べてみたい!今はどうしても移動時間が短い旅先を選んでしまうので、まとまったお休みがあったら、移動に時間のかかるところに行きたいんです。私、飛行機で過ごす16時間とか、まったく苦じゃないので(笑)。

—16時間??一体どうやって過ごしているんですか？

私はなぜか機内のモニターだと集中して映画が観られないので、事前に好きな音楽とか動画をスマホにダウンロードしておいて、機内ではそれを聴いたり観たりして過ごします。そうそう、最近、飛行機の中だと勉強が捗ることに気づいたんです!教材をダウンロードしておいて、暗記したいことをノートにひたすら書き込んでいると、いつの間にか時間が経っちゃう。むしろ一瞬に感じます(笑)。あと、機体に取り付けられたカメラの映像をリアルタイムで見られるじゃないですか。好きな音楽を聴きながらあの映像をずっと眺めて、ルートマップを見ながら「あ、今この上空を飛んでるんだ!」あれがアルプス山脈かあ!って考えながら過ごしていると、気が付いたら時間が過ぎちゃってます!

—…ルートマップを見て絶望するときありません?「寝て起きたのに全然進んでないじゃん(涙)」ってなりません??

—そうですか?「もうここまで来ちゃった!」ってなります(笑)。格安航空会社の狭い座席でも全然平気!座席はエコノミー一択です。なかなかマイルがたまらないのがちょっと残念なんですけど…。楽しく過ごせる自信があるので、数万円多く払って座席をアップグレードするなら、その分、旅先で楽しむほうにお金を使いたいです。

—たくましい…。SNS等で「飛行機好き」を公言されている清宮さんですが、お気に入りの飛行機ってあるんですか？

ずっとボーイングが好きで、特に787がお気に入りだったんですけど、最近エアバスのA350のほうが好きかなあ。新しい機体は設備がどんどん充実しているので、それを体験するのが楽しいんです!ファンの方の中にも「僕も飛行機好きなんです!」という方がいらっしゃるって、お話しすると機体の大きさとか、私とは違う視点で



楽しんでいらっしゃる。そういうところも飛行機の面白いところだと思ってます。

私は子どもの頃から「飛行機に乗るのが怖い」と思ったことがないくらい、飛行機に乗ること自体が好きで、空港に行くだけでいつもワクワクするんです。旅が好きだから飛行機が好きなのか、飛行機が好きだから旅が好きになったのか、分からないくらい(笑)。以前、舞台のお仕事で整備士の役を演じさせていただいたときに、羽田空港の格納庫で JALの整備士さんから機体や空港のお仕事について直接説明していただく機会があったんです。そのときから「もっと飛行機について知りたい!」と思うようになって、最近では自分で飛行機について調べることが趣味になっています(笑)。

『鴨川ホルモー、ワンスモア』 物語の舞台、京都への一人旅

—4月から舞台『鴨川ホルモー、ワンスモア』に出演されるそうですね! 謎の競技「ホルモー」に青春を捧げる大学生たちの姿を描いた物語ですが、どんな役柄を演じられるのでしょうか?

そうなんです! 京都大学の大学生・楠木ふみ役として出演させていただきます。すごく無口なガリ勉タイプの女性なので、私とは真反対な役柄なんですけど(笑)、見に来てくださる皆さま楽しんでいただけるよう、ご一緒する同世代の方々や、ヨーロッパ企画の皆さまと精一杯、役を務められたらと思っています! 今回この舞台に出演させていただくことが決まってから、物語の舞台になった場所を歩いてみたくて、先日、1人で京都に行ってきました。銀閣寺に行ったり、鴨川の辺りを歩いてみたり、同期の弓木奈於ちゃんが教えてくれた安井金比羅神社という縁切り神社に行ったり…

—縁切りですか!?…なにか悩みでも??

あ、全然そんな重い感じの縁ではないです! ちょっと体調を崩しがちだったので「風邪を引くまいように」というお参りをさせていただいた(笑)。私の前に並んでいた方は「家にネズミが出るからネズミと縁を切りたい」とお話しされていました。そういう軽い縁切りをされている方が多かったですね。

あとは、京都大学の近くを散策してきました。京都大学には裏山があって、地図アプリだとただの道として表示されていたので「近道じゃん!」と思って歩いてみたら思った以上に山道で…。1人で山を越えて、お鍋を食べて帰りました(笑)。

—安心しました(笑)。乃木坂46として、大きなステージに立つ経験はたくさんあると思いますが、アイドルではなく、俳優として演劇の舞台に立つことの魅力はどんなところにあると思いますか?

舞台を創り上げる職人さんやキャストの方々の中に入っていくのは、グループの活動とは違って「何とかして、しがみついて、付いていく」という挑戦を迫られている感覚で、すごく刺激的です。舞台に関わっている最中は大変ですけど、終わった後には達成感がありますし、毎回「いい経験になったな」って思えるんです。作品の世界観に入り込んで普段の自分とはまったく違う役になりきれ、お芝居をする

お仕事もすごく好きだと思ってます。

—乃木坂46に応募したときは、俳優として演技のお仕事をする現在の姿を想像できていましたか?

いえ、全然そんなふうには思っていなかったです。乃木坂46のオーディションに応募したのは、当時メンバーとして活躍されていた大園桃子さんが、ただただかわいいなと、憧れていただけで…。だから、まさか選考に進めるなんて思っていなかったし、自分がメンバーに選ばれるなんて、想像できていなかったです。俳優のお仕事も乃木坂46に入って、いろいろなことに挑戦させていただく中で出会ったので、ありがたいですね!

—乃木坂46の活動は多岐にわたりますもんね! 2018年の加入からこれまでの乃木坂46での活動を振り返って、特に印象に残っていることは何ですか?

振り返ると同期との活動がすごく楽しかったですし、印象に残っています。加入当初に4期生みんなで参加した舞台『3人のプリンシパル』や、4期生楽曲の『I see...』をリリースした頃、音楽番組に4期生という形で出演させていただいたのも、すごく楽しかったですね。今は4期生としての活動は少ないので、久しぶりにみんなと会えるときは嬉しいです。

—乃木坂46の楽曲の中で、清宮さんが特に好きな曲があったらぜひ知りたいです!

どの曲にもいろんな思い出があるんですけど、1曲選ぶなら『ここに

いる理由』(2014年発表『夏のFree&Easy』の初回限定版に収録されたアンダー楽曲)ですね。乃木坂46にいたときからアイドル以外の道を切り拓いてきた伊藤万理華さんがリリース当時センターを務めていた楽曲で、先日のアンダーライブでも披露した曲です。万理華さんが卒業された後に私は加入したので、一緒に乃木坂46のメンバーとして活動したことはないんですけど、クリエイターとして自分の個性を活かした活動をされていることや、俳優として演技されているのを見て「すごいなあ」って、めちゃくちゃ引き込まれます。

—最後に今後、挑戦してみたいことがあればお聞かせください!

意外とYouTube以外で英語を使ってお仕事をしていなかったの、これからは語学を活かしたことに挑戦できたらいいなと思っています! コロナの制限もなくなってきたので、今後、乃木坂46で海外でライブをすることになったら、そのときはぜひMCを担当してみたいです。あとは、お芝居でも英語を活かす機会があったら挑戦したいです!

—長時間のフライトも全然平気な清宮さんだったら、きっとどんな国でも行けますね!

確かに(笑)! 一番フライト時間が長い路線ってどこなのでしょうかね?

—シンガポール発ニューヨーク行きが、たしか19時間で一番長かったような。

乗ってみたいなー! いつかチャレンジしたい!!

乃木坂46 12th YEAR BIRTHDAY LIVE



【会場】さいたまスーパーアリーナ
 【開催日】2024年3月7日(木)~10日(日)
 【内容】
 DAY1: 2011-2014
 DAY2: 2015-2017
 DAY3: 2018-2020
 DAY4: 2021-2024
 各日、それぞれの期間にリリースされたシングル・アルバムの楽曲から厳選して乃木坂46の歴史を振り返る



抽選で 清宮レイさん直筆サイン入り色紙1名様にプレゼント!

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申し込みフォームから!

<http://www.jyh.or.jp/hmq>

応募〆切: 2024年4月末日

※当選者にはご応募時にご登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。@jyh.or.jpからのメールが受信できるように設定をお願いいたします。



日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。
おとなはこどもに、
なれる場所。



Hostelling Magazine vol.36



Cover Interview
清宮レイ (乃木坂46)
思い立ったら、すぐ旅へ

P.02



Youth Hostel Pick up
エナジック沖縄国際
ユースホステル
迎える人と訪れる人が
ともに作るあたたかな空間

P.08



Hostelling Magazine
× 地球の歩き方
知られざる北島の絶景を回る旅
ニュージーランド

P.12



PLAtZ

P.16



おしえて! 旅GIRL

P.17



松島むうの
晴れときどき旅びより

P.18



YH-GUIDE
ユースホステルガイド
中国・四国 /
九州・沖縄地方

P.20



Hostelling Magazine vol.36
まとめてダウンロード

※本誌の情報は2024年2月10日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地に確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL. (03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。